

世界恐慌と日本の中国侵略

世界恐慌への対応

◎世界恐慌

1929年、○ニューヨークの株式市場の株価が暴落
→世界的な不況と経済の混乱

◎ブロック経済

イギリス・フランスの対応
本国と**植民地**との関係を密に
その他の地域の商品は高い**関税**をかけた

◎ニューディール

アメリカの対応
○ルーズベルト大統領が対応
公共事業（ダム建設など）をおこし失業者を助ける
労働組合の保護
ソ連の対応
計画経済のため、世界恐慌の影響は受けなかった
◎**五か年計画**を進める

ファシズム

◎ファシズム

民主主義を否定し民族や国家を重視する全体主義の体制や政権

イタリア

○ムッソリーニ ◎**ファシスト党**

エチオピアを侵略し併合

ドイツ

○ヒトラー ◎**ナチス**

ユダヤ人を迫害

ワイマール憲法の停止

国際連盟から脱退し、**軍備の増強**

日本の中国侵略

◎満州事変

関東軍が柳条湖で○南満州鉄道の線路を爆破
清の最後の皇帝◎溥儀を元首として、○**満州国**を建国
国際連盟はリットン調査団を派遣
→満州国は認めず、日本の撤兵を勧告

→日本は◎**国際連盟**を脱退

◎日中戦争

北京郊外の盧溝橋で武力衝突→日中戦争の始まり
◎蒋介石（国民党）と毛沢東（共産党）が◎**抗日民族統一戦線**を結成
首都の南京では日本軍が多く的一般人を殺害したとされる



軍国主義の高まり

◎五・一五事件

海軍将校らが**犬養毅**首相を暗殺
→事件後には軍人が首相になる

政党内閣が終わる

◎**憲政の常道**が終わる

◎二・二六事件

陸軍将校らが首相官邸や警視庁を襲撃し、**東京**中心部を占拠
→**軍部**の政治的な発言力が強まる

憲政の常道

1924年に組まれた

加藤高明内閣以後

二大政党の党首が

内閣を組織した慣例

世界恐慌と日本の中国侵略

国民の生活

金融恐慌

◎昭和恐慌

関東大震災の影響で、多くの銀行が休業、倒産

世界恐慌の影響で、深刻な不況に

→国民の生活が苦しくなる

日中戦争

◎国家総動員法

議会の承認なしに、労働力や物資を戦争に動員できる

議会は形だけに

◎大政翼賛会

政党などは解散して結成

総力戦のための「挙国一致」の体制に

切符制

砂糖、マッチ、木炭など

配給制

米

◎皇民化政策

朝鮮で行われる

日本語の使用

創氏改名（姓名の表記を日本式に）

国民の生活

○ロンドン海軍軍縮条約

1930年

浜口雄幸首相が結ぶ

→東京駅で襲われる